

正

宅地造成に関する工事の許可申請書

宅地造成等規制法第8条第1項本文の規定による許可を申請します。 令和 年 月 日 (あて先) 名古屋市長 申請者 <small>ふりがな</small> 氏 名				※手数料欄			
1 造成主住所氏名		電話 ー					
2 設計者住所氏名		電話 ー					
3 工事施行者住所氏名		電話 ー					
4 宅地の所在及び地番							
5 宅地の面積		平方メートル					
工 事 の 概 要	イ 切土又は盛土をする土地の面積		平方メートル				
	6	ロ 切土又は盛土の土量		切土	立方メートル		
				盛土	立方メートル		
	ハ 擁 壁	番号	構造	高さ(見かけ)メートル	延長メートル		
	ニ 排水施設	番号	種類	内法寸法 <small>センチメートル</small>	延長メートル		
ホ 崖面の保護の方法							
ヘ 工事中の危害防止のための措置							
ト その他の措置							
チ 工事着手予定年月日		年 月 日					
リ 工事完了予定年月日		年 月 日					
ヌ 工程の概要							
7 その他必要な事項							
※ 受付欄		※ 決裁欄		※ 許可に当たって付した条件		※ 許可番号欄	
				裏面条件のとおり		令和 年 月 日	
						指令住開指	
						第 1 ー 号	
						係員氏名	

許可に当たって付した条件

付 記

1. 宅地造成等規制法、施行令、施行規則及び名古屋市宅地造成等規制法施行条例、施行細則により施行すること。
2. 工事完了後検査しがたい基礎、裏込コンクリート、透水層、配筋等はその箇所及び寸法（スケールをあてること）の確認ができる写真、並びに構造物の完了写真及び敷地周辺の状況が確認できる写真を完了検査申請書の提出時に1部提出すること。
3. 隣地境界付近での工事は、関係法令等を遵守し十分な保護のもとで施行するとともに、特に工事施工にあたり付近住民に説明し、住民の生活環境を保全するよう努めること。
4. 石積・ブロック積のある場合は、基礎掘さくが完了したときに根入深さの検査、及び前面G Lまで積上がったときに裏込コンクリート厚の検査を受けること。
5. 鉄筋コンクリート擁壁のある場合は、基礎掘さくが完了したときに根入深さの検査、及び基礎、たて壁の配筋が完了したときに検査を受けること。
6. コンクリート（重力式）擁壁のある場合は、基礎掘さくが完了したとき根入深さの検査、及び型枠組立てが完了したときに型枠検査を受けること。

許可申請書の記入方法

申請者, 1, 2, 3 欄

申請者、造成主、設計者又は工事施行者が法人である場合には、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。

2 欄 資格を有する者の設計によらなければならない工事

- (1) 高さが 5 メートルをこえる擁壁の設置。
- (2) 切土または盛土をする土地の面積が 1,500 平方メートルをこえる土地における排水施設の設置。

資格を有することを証明するに足る資料を本申請書に添付してください。

3 欄 未定のときは定まってから工事着手前に届けてください。

4 欄 土地区画整理事業の施行中は、従前の所在地と仮換地の地番を記入してください。

5 欄 宅地の全体面積を記入してください。

6 欄 イ 切土または盛土をする土地の合計面積を記入してください。

ハ 義務設置擁壁（擁壁見かけ高さが擁壁前面 G L から擁壁背面 G L までの高さのもので切土の場合には高さ 2 メートル、盛土の場合には 1 メートル、切土と盛土を同時にする場合には高さが 2 メートルを超える崖を覆う擁壁、をいう）を記入し、番号は計画平面図と対照できるものを付してください。

ニ 雨水排水施設のみを記入してください。

ホ 擁壁で覆わないときの法面の保護方法（例えば張芝等）について記入してください。

へ 仮設方法（例えば土留矢板等）及び保安施設（例えば防護さく等）を詳細に記入してください。

ヌ 工種毎の施工予定期間を記入してください。

7 欄 宅地造成に関する工事を施行することについての他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の申請手続きの状況を記入してください。

